

## 「日米安保無き日本の生き筋を考える時」

自民党国際局長として、中国、ロシア、朝鮮半島、アメリカ合衆国との外交について、専門家を招き局幹部勉強会で学んでいますが、もはや日米安保条約が事実上機能しない状況における日本の安全保障を中心とした生き方を本気で検討しなければならぬ時が来ている事を実感せざるを得ません。オバマ政権において日米関係と安全保障環境は大きく変わってしまいましたが、今後アメリカ合衆国大統領がクリントン氏、トランプ氏、その他誰になるうとも、もはや冷戦時代に構築された日米安保条約下の日米関係と日本の安全保障環境が変質してゆく流れは不可逆的に進んでいくと思われず。

日本はアメリカを守らないのにアメリカは日本を守る。日本は基地と財政支援だけ提供していればいいという偏った関係をアメリカ国民は不合理だと考え始めており、修正行動に出てくる可能性が徐々に高まっているのではないかと思えます。条約はあっても有事に際してアメリカは本当に期待通り動いてくれるのかわからなくなってきたように感じるので。

安全保障とは主権護持の問題です。領土・領海・国民の生命・財産を守る為に日本人がどれ程本気であるかが試されているのです。各国は自らの主権を守る為に、命懸けになります。あのロシアですら、クリミアを奪還する為

に国際的非難や経済制裁を国民ですら甘んじて耐え、それでもプーチンの支持率は急進しました。またそのロシアも隣接する小国から、たとえどんな難難辛苦を舐めようとも我が国には一歩も外国の支配を許さないとの決意を突きつけられています。領土・領海、主権というものは、何にも替え難いそれこそ命を懸けて守るものなのだというのが世界の普遍的な感覚なのです。

しかし日本国民はどうでしょう。一部の関心の強い方々はともかく、国民の大勢は竹島、北方領土、尖閣諸島について命を懸けても取り戻し、守る気持ちがあるでしょうか？韓国もロシアも竹島、北方領土を日本人が戦争で取り返さない限り返すつもりは無いでしょう。尖閣は今、安倍内閣が必死に守っています。安倍総理もいつかは交代します。その時の内閣が守り切れるかは、装備の問題でも制度の問題でもなく、国民の気持ちにかかっています。国民が尖閣を絶対に守らなければならぬと、強く決意していれば、どんな内閣が出来ても絶対に守るでしょう。しかし、今のままでは時の総理大臣の信念次第になつてしまふので。

日本には国際法上の正当性がある！と100万回言っても竹島も北方領土も戻らないでしょう。尖閣も守れないでしょう。話し合つて譲歩を勝ち取るというのは、国際社会の現実を見れば虚しい幻想でしょう。しかし、その現実に日本人の大勢が気付くまでに、我が国の先人が多くの血を流して獲得し、守ってきた日本の権益はどれ程失われることになるだろうかと思うと虚しさや情けなさで胸が塞がります。そして日本人がどっぷり依存してきた日米安保条約が機能しなくなつてこようとしている現実。私は胸塞がりながらも、自分のこの国への愛着と祖先への感謝と子孫への責任の為に、最後の一人となつても、この国の独立を守る為に持てる全ての力を尽くそうと思えます。

アメリカ合衆国がどんな内向きになつてきています。中東から撤退を進め、アジアにシフトするリバランスを進めていると聞きますが、アメリカはアジア経営にどの程度力を入れようとしているのでしょうか？大統領候補達はTPPにこそ反対して

います。TPPは、東南アジア、オセアニアを含む環太平洋地域の自由経済の枠組みです。これが出来なければ、少なくとも中国は東南アジアを中国経済圏に編入するでしょう。次第にオセアニアへの影響力も強化していくでしょうし、経済的な結びつきが強化されれば、安全保障の枠組みも目指し始めるかも知れません。アメリカがTPPでなく、中国との関係の関係を重視し、東アジア、東南アジアの経営を中国に託すことになれば、日本は東アジアで孤立し、

中国に恭順しなければならぬ状況に追い込まれて行くでしょう。中国は中国共産党の実質一党独裁の国であり、軍隊も国でなく党のもの、憲法はあれども党の権限が優位であり、言論は統制され、反体制派は逮捕され、少数民族は弾圧される国です。そんな国に恭順して、日本人は幸せになれるでしょうか？私はそう思えません。しかし、世界の人人々は政治体制よりも豊かさを求めています。豊かになれる価値観ならば何でもいいと考えるかも知れませんが、発展著しいベトナムも共産党国家です。世界の自由主義はここ20年後退しています。自由民主主義に対する懐疑が始まっているのです。日本は欧米の自由民主主義と共に豊かになりましたから、自由民主主義への信頼感が篤い国ですが、東南アジアや中央アジア諸国ではそれは揺らいでいます。

日本のアジア太平洋地域における立場も揺らいでいます。日本独自のリーダーシップを掲げなければならぬ時がきています。アメリカへの精神的依存から脱却し、この難しいアジア太平洋地域の経営に日本がなくてはならない役割を演じる気概を示さなければ、埋没し、中国に隷従する国に甘んじなければならぬようになります。新時代のアジア太平洋地域における日本のイニシアチブ、未来への構想を力強く示すことに挑戦することが、ポスト冷戦時代のアジアを生き抜く日本の基本戦略になると思えます。

中国に恭順しなければならぬ状況に追い込まれて行くでしょう。中国は中国共産党の実質一党独裁の国であり、軍隊も国でなく党のもの、憲法はあれども党の権限が優位であり、言論は統制され、反体制派は逮捕され、少数民族は弾圧される国です。そんな国に恭順して、日本人は幸せになれるでしょうか？私はそう思えません。しかし、世界の人人々は政治体制よりも豊かさを求めています。豊かになれる価値観ならば何でもいいと考えるかも知れませんが、発展著しいベトナムも共産党国家です。世界の自由主義はここ20年後退しています。自由民主主義に対する懐疑が始まっているのです。日本は欧米の自由民主主義と共に豊かになりましたから、自由民主主義への信頼感が篤い国ですが、東南アジアや中央アジア諸国ではそれは揺らいでいます。

日本のアジア太平洋地域における立場も揺らいでいます。日本独自のリーダーシップを掲げなければならぬ時がきています。アメリカへの精神的依存から脱却し、この難しいアジア太平洋地域の経営に日本がなくてはならない役割を演じる気概を示さなければ、埋没し、中国に隷従する国に甘んじなければならぬようになります。新時代のアジア太平洋地域における日本のイニシアチブ、未来への構想を力強く示すことに挑戦することが、ポスト冷戦時代のアジアを生き抜く日本の基本戦略になると思えます。

中国に恭順しなければならぬ状況に追い込まれて行くでしょう。中国は中国共産党の実質一党独裁の国であり、軍隊も国でなく党のもの、憲法はあれども党の権限が優位であり、言論は統制され、反体制派は逮捕され、少数民族は弾圧される国です。そんな国に恭順して、日本人は幸せになれるでしょうか？私はそう思えません。しかし、世界の人人々は政治体制よりも豊かさを求めています。豊かになれる価値観ならば何でもいいと考えるかも知れませんが、発展著しいベトナムも共産党国家です。世界の自由主義はここ20年後退しています。自由民主主義に対する懐疑が始まっているのです。日本は欧米の自由民主主義と共に豊かになりましたから、自由民主主義への信頼感が篤い国ですが、東南アジアや中央アジア諸国ではそれは揺らいでいます。

中国に恭順しなければならぬ状況に追い込まれて行くでしょう。中国は中国共産党の実質一党独裁の国であり、軍隊も国でなく党のもの、憲法はあれども党の権限が優位であり、言論は統制され、反体制派は逮捕され、少数民族は弾圧される国です。そんな国に恭順して、日本人は幸せになれるでしょうか？私はそう思えません。しかし、世界の人人々は政治体制よりも豊かさを求めています。豊かになれる価値観ならば何でもいいと考えるかも知れませんが、発展著しいベトナムも共産党国家です。世界の自由主義はここ20年後退しています。自由民主主義に対する懐疑が始まっているのです。日本は欧米の自由民主主義と共に豊かになりましたから、自由民主主義への信頼感が篤い国ですが、東南アジアや中央アジア諸国ではそれは揺らいでいます。

中国に恭順しなければならぬ状況に追い込まれて行くでしょう。中国は中国共産党の実質一党独裁の国であり、軍隊も国でなく党のもの、憲法はあれども党の権限が優位であり、言論は統制され、反体制派は逮捕され、少数民族は弾圧される国です。そんな国に恭順して、日本人は幸せになれるでしょうか？私はそう思えません。しかし、世界の人人々は政治体制よりも豊かさを求めています。豊かになれる価値観ならば何でもいいと考えるかも知れませんが、発展著しいベトナムも共産党国家です。世界の自由主義はここ20年後退しています。自由民主主義に対する懐疑が始まっているのです。日本は欧米の自由民主主義と共に豊かになりましたから、自由民主主義への信頼感が篤い国ですが、東南アジアや中央アジア諸国ではそれは揺らいでいます。

中国に恭順しなければならぬ状況に追い込まれて行くでしょう。中国は中国共産党の実質一党独裁の国であり、軍隊も国でなく党のもの、憲法はあれども党の権限が優位であり、言論は統制され、反体制派は逮捕され、少数民族は弾圧される国です。そんな国に恭順して、日本人は幸せになれるでしょうか？私はそう思えません。しかし、世界の人人々は政治体制よりも豊かさを求めています。豊かになれる価値観ならば何でもいいと考えるかも知れませんが、発展著しいベトナムも共産党国家です。世界の自由主義はここ20年後退しています。自由民主主義に対する懐疑が始まっているのです。日本は欧米の自由民主主義と共に豊かになりましたから、自由民主主義への信頼感が篤い国ですが、東南アジアや中央アジア諸国ではそれは揺らいでいます。

中国に恭順しなければならぬ状況に追い込まれて行くでしょう。中国は中国共産党の実質一党独裁の国であり、軍隊も国でなく党のもの、憲法はあれども党の権限が優位であり、言論は統制され、反体制派は逮捕され、少数民族は弾圧される国です。そんな国に恭順して、日本人は幸せになれるでしょうか？私はそう思えません。しかし、世界の人人々は政治体制よりも豊かさを求めています。豊かになれる価値観ならば何でもいいと考えるかも知れませんが、発展著しいベトナムも共産党国家です。世界の自由主義はここ20年後退しています。自由民主主義に対する懐疑が始まっているのです。日本は欧米の自由民主主義と共に豊かになりましたから、自由民主主義への信頼感が篤い国ですが、東南アジアや中央アジア諸国ではそれは揺らいでいます。

中国に恭順しなければならぬ状況に追い込まれて行くでしょう。中国は中国共産党の実質一党独裁の国であり、軍隊も国でなく党のもの、憲法はあれども党の権限が優位であり、言論は統制され、反体制派は逮捕され、少数民族は弾圧される国です。そんな国に恭順して、日本人は幸せになれるでしょうか？私はそう思えません。しかし、世界の人人々は政治体制よりも豊かさを求めています。豊かになれる価値観ならば何でもいいと考えるかも知れませんが、発展著しいベトナムも共産党国家です。世界の自由主義はここ20年後退しています。自由民主主義に対する懐疑が始まっているのです。日本は欧米の自由民主主義と共に豊かになりましたから、自由民主主義への信頼感が篤い国ですが、東南アジアや中央アジア諸国ではそれは揺らいでいます。

Facebookでも活動報告を行っています。〈Facebookアドレス〉<https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください！お待ちしております。

